

登録コード	TSX29600	開講年度	2026			
授業科目	都市環境設計学実験				担当教員	南 健斗
英文授業名	Urban Environmental Design Investigation				副担当	
単位数	4	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ					
	【研究科共通】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	建築における風環境の実測および評価手法を理解する。
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ					
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				⇔	建築における風環境の実測および評価手法を基に現象の説明ができるようになる。
(2)授業の概要	風環境の基礎と実対象への応用を習得するために、風環境に関する基礎理論、風環境の評価手法、野外の実測を行う。基礎的な理論は演習問題で理解を深め、複数の風速計を用いて実対象への応用を行う。なお、講義はアクティブラーニング手法を交えて実施する。					
(3)授業計画	第01回 ガイダンス 第02回～第06回 風環境の実測手法とその理論 第07回～第12回 風環境の実測・演習 第13回～第15回 実測結果報告会・ディスカッション1 第16回～第20回 風環境の評価手法と防風対策 第21回～第26回 防風効果の実測・演習 第27回～第29回 実測結果報告会・ディスカッション2 第30回 まとめ					
(4)成績評価の方法	2回の実測結果報告会・ディスカッション(各50%)で評価する。90～100点を秀、80～89点を優、70～79点を良、60～69点を可、59点以下を不可として成績を評価する。レポートを提出して発表することで可を取る事ができる。					
(5)成績評価の基準	各課題に対して、「問題の背景が説明できている」「問題設定ができている」「問題解決の方向性や定量化が示している」の3項目で評価を行う。 3項目の合格水準を満たして、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 3項目の合格水準を満たしていれば「かなり上にある」。 2項目の合格水準を満たしていれば「やや上にある」。 1項目の合格水準を満たしていれば「合格水準にある」。					
(6)事前事後学習の内容	1 単位当たり『45時間から授業時間を引いた時間量』の自主学習時間が課せられており、授業内容の事後学習および授業中に指示した内容の事前学習すること。					
(7)履修上の注意	特になし。					
(8)質問,相談への対応	講義中、および講義の前後に随時受け付ける。 メールによる質問・相談はminami@shinshu-u.ac.jpに連絡すること。					
(9)その他	特になし。					
【教科書】	指定しない。必要に応じて資料を配布する。					
【参考書】	指定しない。必要に応じて資料を配布する。					